

レジメン名  
がん種

**トラスツズマブ+XELOX**  
**胃癌**

一般名	投与量	単位
トラスツズマブ	(初回量) 8 mg/kg (維持量) 6 mg/kg	
オキサリプラチン	130 mg/m <sup>2</sup>	
カペシタビン(内服)	2,000 mg/m <sup>2</sup> /日	day

  

3週ごと

2週服薬 → 休薬 → 2週服薬 → 休薬

1コース      2コース

	治療内容	
	メイン	側管
<p>ルート確保用輸液は、所要時間に合わせて適宜速度調節する。</p>	<p>ルート確保</p>	<p>経過時間</p> <p>0 (30分) ①</p> <p>90分</p>
		<p>②</p> <p>等速</p> <p>30分</p>
<p>生食(250ml)</p> <p>ハーセプチン後の生食フラッシュ終了時に残液を破棄し、ブドウ糖液に切り替える。</p>	<p>ルート確保</p>	<p>③</p> <p>2時間</p>
		<p>④</p> <p>30分</p>

  

**注意**

ハーセプチンは、初回90分。初回投与時のインフュージョンリアクションが軽度であれば、次回より30分まで短縮可能

以下繰り上げ開始可

生食(50ml) フラッシュ用

デキサート(3.3mg/ml) 2A  
グラニセトロンバッグ(100ml)

オキサリプラチン  
5%ブドウ糖(250ml)

ゼローダは朝夕食後に服用 day1夕から開始 !! 服用量を確認!!

針先が、抗癌剤を含まない輸液に満たされた後、抜針する。

曝露防止の観点より、あらかじめメインの輸液から側管用ルートのプライミングを行い、びん針の先に接続チューブをセットして準備する。